

## 最後まで頑張ろう！「浜を守る！ぎょさい総加入運動」

今年度は、「浜を守る！ぎょさい総加入運動」の締め括りとなる年ですが、漁燃油や諸経費の高騰などにより漁業経営が厳しい環境にあることから、加入推進の現場は非常に困難なものになっています。こうした状況ではありますが、継続加入の確保に全力を傾けるとともに、新規加入や契約割合の拡大に向けた取り組みを行った結果、上半期の加入実績(共済金額)は前年同期比でほぼ 100%、3億7千万円の増加と、わずかながらではありますが、昨年の実績を上回るという大きな成果を上げることができました。

今年度は、内陸での大きな地震や局地的な集中豪雨による災害がありました。漁業関係では、瀬戸内海ののり養殖の色落ちによる大被害の後は災害が比較的少なく、支払われた共済金も上半期で40億円と、昨年に比べて82%、9億円の減少となりました。

災害の中でも漁業に大きな被害を与えるのが台風ですが、幸いなことに今年はいまだに台風の発生は無く、発生数も18個と平年の24個の75%にとどまっています。また、これまで毎年のように深刻な漁業被害を与えてきた大型クラゲも、今シーズンは日本近海ではほとんど目撃されていないと聞いています。また、赤潮による被害も一時急速に広がり、広範囲での被害発生が危ぶまれましたが、何とか収束に向かい、大きな被害を免れることができました。このように、漁業災害の面から見ると、今年度はこれまでに無いくらい穏やかな年となっています。

ただ海水温の高い状況は依然として続いており、今後、のり養殖業をはじめとする各方面への影響が心配されます。また、冬場の爆弾低気圧発生の恐れや、今年の台風の発生が5月に集中したことなどの異常な気象にも予断を許せない状況が続いています。更に、これまでの燃油高騰などによる経費の増高や、金融危機による魚価安などの影響が心配される所です。

このような状況の中で、一人でも多くの方が、また、少しでも契約割合を高めるなど補償力を高めて「ぎょさい」に加入することが重要です。漁業経営のセーフティネットとしての「ぎょさい」活用を促進させるため、下半期も是非多くの皆様のご支援ご協力をお願いします。

### 台風の発生状況(発生数)

(気象庁資料より)

年	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2008		1	4	2	2	4	5	1			18
2007		1	1		3	4	5	6	4		24
2006			1	1	3	7	3	4	2	2	23
2005	2	1	1		5	5	5	2	2		23
2004		1	2	5	2	8	3	3	3	2	29
2003	1	1	2	2	2	5	3	3	2		21
2002	1		1	3	5	6	4	2	2	1	26
2001			1	2	5	6	5	3	1	3	26
2000			2		5	6	5	2	2	1	23
1999		2		1	4	6	6	2	1		22
平均	0	1	2	2	4	6	4	3	2	1	24

(平成20年11月14日 運動情報版より)